

県土づくりNEWS

2016年

2月

岩手県 県土整備部 手づくり広報誌第139号 平成28年2月29日発行 編集 県土整備企画室



目次

- 2 「いわてポートセミナー2016」を開催!
- 3 簗川ダム建設工事で転流式を行いました!
- ◆ 4 主要地方道 重茂半島線 大沢〜浜川目工区 現場見学会を開催しました!
- 6「いわて復興住宅祭in大船渡」を開催しました!
- 7 「除雪機械ふれあい体験」を開催しました!
- 8 「建設業新分野・新事業発表フォーラム」を開催!
- 9 平成 27 年度優良建設関連業務表彰式を開催しました!!
- ◆ 11 元旦ビューティー工業株式会社様からの寄付金の贈呈式を行いました
- 12 いわて花巻空港3月27日ダイヤ改正!!



「いわてポートセミナー2016」を開催!

平成 28 年 2 月 2 日 (火)、東京都内のホテルを会場に「いわてポートセミナー2016」を開催しました。

首都圏の荷主企業や船会社などから89社・190名の方々に参加いただき、知事及び重要港湾所在市長からのプレゼンテーションなど、トップセールスを行いました。





「いわてポートセミナー2016」を開催!

平成28年2月2日(火)、東京都内のホテルで県主催による「いわてポートセミナー2016」を開 催しました。

本セミナーは、首都圏の荷主企業や船社等に向けて、本県港湾の利活用や臨海部工業団地への企業 立地を強くPRするために毎年実施しているものであり、今回で14回目の開催となります。

セミナーでは、達増知事が「世界を結び、未来を拓く いわての港」と題し、東日本大震災津波か らの復旧復興状況やこれからの本県港湾の取組などを紹介した後、戸田大船渡市長、野田釜石市長、 山本宮古市長、遠藤久慈市長が、各市所在港湾の概要や助成制度などについて紹介しました。

さらに今回は東北地方整備局の川瀧局長を講師としてお招きし、「東北地方整備局の最近の話題」 と題し、特に復興道路等の道路ネットワークの整備状況を中心に御講演をいただきました。

当日は、昨年を大きく上回る多くの企業の方々に御出席いただき、本県の港湾利用に向けた取組に 熱心に耳を傾ける姿が見られました。また、セミナー終了後の情報交換会では、参加企業と本県の港 湾関係者による積極的な情報交換が行われました。

共催:岩手県港湾協会、久慈湾総合開発促進協議会、宮古港利用促進協議会、釜石港湾振興協議会、大船渡港振興協会



達増知事プレゼンテーション





戸田大船渡市長プレゼンテーション



山本宮古市長プレゼンテーション



川瀧東北地方整備局長講演



野田釜石市長プレゼンテーション



遠藤久慈市長プレゼンテーション



会場の様子



築川ダム建設工事で転流式を行いました!

盛岡広域振興局土木部 築川ダム建設事務所

平成27年度から簗川の流れを切り替える転流工事を行ってきましたが、その完成に伴い、県と施工業者の約50名により「転流式」を行いました。

転流式では、今後の工事安全祈願の後、号令を合図に重機を使用して大型土のうで河川を締め切りました。その後、関係者が高らかに万歳三唱を行い、転流船を浮かべて転流式を終えました。

築川のこの区間は、今後、ダムが完成するまでの 間、仮排水路トンネルを流れることになります。









工事はこれまで、平成 27 年5月 15 日(金)の「安全祈願祭・起工式」以降、仮排水路トンネルの掘削を進め、9 月 22 日(火)にはトンネルが貫通しました。その後は、コンクリートによるトンネル内部の補強工事や各口部・吐口部の構造物建設を行い、無事にこの日を迎えることができました。









また、平成27年度は、転流工のほかにも、 左岸・右岸工事用道路の建設も行いました。

工事は今後、ダムの基礎となる岩盤まで掘り下げる「基礎掘削」、コンクリートによりダムを作る「堤体打設」などを順次進めていき、平成32年度の竣工を目指しています。

グループ等で見学を希望の方は、当事務所 まで御連絡下さい。

【連絡先】簗川ダム建設事務所

Tel: 019-652-8821 Fax: 019-652-8822



【復興関連道路】主要地方道 重茂半島線 大沢〜浜川目工区 現場見学会を開催しました!!

~ つなごう!復興のために 進もう!復興のその先へ ~

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

山田町立大沢小学校の復興教育で(主)重茂半島線大沢〜浜川目工区を現場見学

県が「復興関連道路」として、下閉伊郡山田町大沢から浜川目間で整備を進めている主要地方道重茂半島線大沢〜浜川目工区(以下、「本工区」という。)については、現在、大沢地区で道路改良工事を進めていますが、平成28年2月8日(月)に、山田町立大沢小学校の復興教育の一環として、現場見学会を開催しました。県が整備を進めている主要地方道重茂半島線全7工区では、初めての現場見学会の開催となります。

現場見学会には、大沢小学校3~6年生の児童53名が参加し、本工区の事業計画や、関連事業で山田町が施行する大沢第1住宅団地造成工事等(漁業集落防災機能強化事業)の計画を学んだ後、大規模な切土工事が進む大沢地区の工事状況を間近で見学していただきました。

また、現場見学終了後、3月で大沢小学校を卒業する6年生の児童の皆さんに、「復興への想いと未来の自分へのメッセージ」をタイムカプセルに格納して、大沢第1住宅団地脇の造成地(学校用地)に埋めていただきました。

タイムカプセルを埋めた場所には、6年生の学級目標である「団結」の2文字を刻んだ石碑を建て、児童が二十歳を迎えた成人式の際にみんなで開ける予定としています。今回の現場見学会で感じた気持ちを忘れずに、児童の復興への想いが未来へつながることを期待しています。





主要地方道重茂半島線大沢〜浜川目工区の事業概要

県では、岩手県東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保し、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築することを目的として、三陸復興道路整備事業を実施しています。

主要地方道重茂半島線は、三陸復興道路整備事業の「復興関連道路」に位置付け、県が 重点的に整備を進めています。このうち、下閉伊郡山田町で事業を進めている大沢〜浜川 目工区は、多重防災型まちづくり連携推進事業(まちづくり連携道路整備事業)として山 田町が施行する漁業集落防災機能強化事業、土地区画整理事業等の復興まちづくりと連携 し、東日本大震災津波と同等の津波が発生した場合でも浸水しない道路を整備することに より、高台に整備される3箇所の住宅団地(大沢第1住宅団地、大沢第2住宅団地、浜川 目住宅団地)をつなぎ、災害時等における確実な緊急輸送や代替機能等を確保します。



進捗状況

(仮称) 大沢トンネルの工事に着手

本工区の主要構造物である(仮称)大沢トンネル(L=265.0m)については、平成 28年の春頃から本格的に工事着手するほか、浜川目地区の道路改良工事等にも着手し、全線で工事を進めていきます。

県では、平成 28 年を「本格復興完遂年」と位置付け、本格復興をやり遂げ、次につながるよう強力に復興を推し進めることとしており、本工区についても、平成 29 年度の全線供用に向けて全力で事業を推進していきます。



「いわて復興住宅祭in大船渡」 を開催しました!

建築住宅課

県が復興支援として行っている「いわて復興住宅祭」を、平成28年2月6日(土)、7日(日)の2日間、大船渡市リアスホールにおいて開催しました。

このイベントは、平成24年度から沿岸市町村において開催しており、今年度は、釜石市(7月)と宮古市(9月)に次いで、3回目の開催となるものです。

東日本大震災津波で被災され た方々や地元住民など約810名 が訪れ、地域型復興住宅や住宅 事業者等の取組や展示を御覧い ただきました。

また、来場された皆様は、建

築士などの住宅の専門家と各種支援制度や住宅ローンなどについて個別相談を行い、「相談に来て良かった!」、「説明が分かりやすく丁寧だった!」などの御意見をいただきました。

今後も、「いわて復興住宅祭」や「住宅再建相談会」を沿岸市町村で開催する予定ですので、一人でも多くの方々に御来場いただきたいと思います。



【ガンライザーによるもちまき大会】



【個別相談の様子】





「除雪機械ふれあい体験」を開催しました!

盛岡広域振興局土木部

平成 28 年2月7日(日)に、除雪作業への理解を深めていただくとともに建設業の魅力を広く県民へアピールするため、一般社団法人建設業協会盛岡支部青年部と共同で「いわて雪まつり」では初のイベントとなる「除雪機械ふれあい体験」を開催しました。

開催場所は、雫石町小岩井農場の「いわて雪まつり 2016」の会場内で、 ロータリー除雪機械の展示・試乗会及びお楽しみ抽選会を行い、延べ600名 以上(県内23市町村及び県外から約80名)の御参加をいただきました。

来年は、「いわて雪まつり 50 周年」を迎えますが、引き続き、冬季交通確保に必要不可欠な除雪を理解いただくとともに、建設業の役割や魅力を情報発信する場として更に楽しめるよう工夫し取り組んでいく予定です。

イベント会場の様子



抽選会でロータリー除雪車のミニカーなどをプレゼント



ロータリー除雪車への試乗体験



開催者集合写真



※ 「除雪機械ふれあい体験」の様子は、一般社団法人岩手建設業協会・関連団体からのお知らせや 地域情報等を掲載している「いわけんブログ」からも御覧になれます。

いわけんプログURL: http://www.iwaken.or.jp/info/2016/02/15 1338.html



「建設業新分野・新事業発表フォーラム」を開催!

建設技術振興課

平成 28 年2月1日(月)に、「平成 27 年度建設業新分野・新事業発表フォーラム」を盛岡市のエスポワールいわてで開催しました。

本フォーラムは、県内建設企業の経営体質の強化への取組意欲を喚起し、構造改革の推進を 図ることを目的に、平成 15 年度から開催してきました。

フォーラムでは、建設業新分野進出等表彰式(最優秀賞1社、優秀賞1社)を行い、その後、「『大社の杜みしま』で繰り広げる、様々なコミュニティ活動の場所つくり」と題して加和太建設株式会社 代表取締役社長 河田亮一氏による基調講演と、今年度受賞企業2社及び過年度受賞企業2社による事業のプレゼンテーションを行いました。

また、新分野進出企業による商品・事業のPRブースを設置し、今回受賞した事業のパネル展示を行うとともに、過去の受賞事業のパネル紹介や、経営相談コーナーにおいて、建設企業に対する経営相談会を実施しました。

今年度受賞企業

【岡崎建設株式会社(紫波町)】 サービス関連分野 最優秀賞 ホテル業・不動産賃貸業・体育施設 の経営事業

【丸協建設株式会社(奥州市)】 保健福祉生活分野 優秀賞 通所介護·認知症対応型共同生活介護事業



新分野進出等表彰



基調講演(加和太建設(株)河田亮一氏)



受賞者プレゼンテーション



平成 27 年度優良建設関連業務表彰式

を開催しました!!

~ 優良建設関連業務表彰 · 優良技術者表彰 ~

建設技術振興課

平成 28 年 2 月 17 日 (水) に、岩手県水産会館で平成 27 年度「優良建設関連業務表彰」と「優良技術者表彰」を行い、蓮見県土整部長から表彰状の授与を行いました。

この優良建設関連業務表彰制度は、県土整備部又は広域振興局土木部等が発注した建設関連業務のうち、業務成績が優秀で、他の模範となる業務を履行した受注者及び管理技術者を表彰することにより、建設関連業務の技術の向上による公共工事の品質の確保を図ることを目的として、平成27年度に創設したもので、今回の表彰が第1回目となります。

今回の表彰対象は、平成 26 年度に完了した建設関連業務のうち、委託業務成績評定要領に基づき成績評定を行った業務(県内に本店又は営業所を有する受注者に限る。)で、県土整備部優良建設関連業務表彰委員会における審議を経て、<u>優良建設関連業務 31</u>件・26 者、優良技術者 31 件・31 者が被表彰者として選定されました。

表彰式には、受賞企業の代表者等が多数出席し、受賞者の優れた業績を称えました。

「優良建設関連業務表彰式」の様子

表彰状授与



優良建設関連業務表彰受賞者





【平成27年度岩手県県土整備部優良建設関連業務表彰一覧】

【 測		【管理技術者】	表彰業務名	発注公所			
	【 測量 】 (4件)						
1	(株)昭和土木設計 〔矢巾町〕	八重樫 栄	一般県道沖田田原線鳥海地区気象調査検討業務委託	千厩土木センター			
2	(有)先先測量 〔花巻市〕	多田 忠夫	一般県道花巻停車場線ほか四日町地区ほか道路台帳整備(調査・測量)業務委託	花巻土木センター			
3	(株)エヌティーコンサルタント 〔盛岡市〕	菊池 晴圭	気仙川ほか流量観測業務委託	住田整備事務所			
4	(株)スズマ測量設計 〔久慈市〕	久慈 隆	主要地方道大更八幡平線刈屋~柏台地区道路台帳整備(調査・測量)業務委託	岩手土木センター			
【 建築関係建設コンサルタント 】 (2件)							
1	(株)久慈設計 〔盛岡市〕	櫻木 勲	宮古警察署庁舎及び待機宿舎新築工事設計業務	建築住宅課			
2	(株)木村設計A・T 〔花巻市〕	佐々木 忠保	災害公営住宅(陸前高田市脇の沢地区)新築工事設計業務	建築住宅課			
【 土木関係建設コンサルタント 】 (16件)							
1	(株)エイト日本技術開発 [岡山県]	加藤 宏司 椛木 洋子	一般県道大ケ生徳田線徳田橋河川協議資料作成業務委託	盛岡広域振興局土木部			
2	基礎地盤コンサルタンツ(株) 〔東京都〕	河村 敬	大船渡港普金地区他海岸保全施設詳細設計業務委託	大船渡土木センター			
3	三井共同建設コンサルタント(株) 〔東京都〕	小椋 須美雄	大船渡港永浜-山口地区他海岸保全施設詳細設計業務委託	大船渡土木センター			
4	(株)ニュージェック 〔大阪府〕	鶴田 卓士	築川ダム環境調査業務委託	簗川ダム建設事務所			
5	東北エンジニアリング(株) 〔滝沢市〕	及川 一紀	主要地方道盛岡環状線大釜~分レ地区道路計画調査業務委託	盛岡広域振興局土木部			
6	(株)昭和土木設計 〔矢巾町〕	八重樫 栄	一般県道夏油温泉江釣子線夏油地区道路災害復旧調査設計業務委託	北上土木センター			
7	(株)東京建設コンサルタント 〔東京都〕	伊藤 和典	一級河川岩崎川筋又兵工新田地区河道計画策定ほか業務委託	盛岡広域振興局土木部			
8	八千代エンジニヤリング(株) 〔東京都〕	貫井 明	入畑ダム総合点検業務委託	北上土木センター			
9	(株)一測設計 〔一関市〕	田野崎 充	花露辺の沢(1)地区砂防えん堤測量設計業務委託	沿岸広域振興局土木部			
10	(株)岩手開発測量設計 〔盛岡市〕	秋元 正義	一般国道283号東晴山地区落石対策測量設計業務委託	花巻土木センター			
11	(株)菊池技研コンサルタント 〔大船渡市〕	櫻 好裕	一般県道前沢東山線ほか本町橋ほか橋梁補修調査設計業務委託	千厩土木センター			
12	(株)東光コンサルタンツ 〔東京都〕	丹治 朝彦	一般県道盛岡滝沢線下鵜飼地区函渠詳細設計業務委託	盛岡広域振興局土木部			
13	(株)土木技研 〔盛岡市〕	松原 和則	主要地方道盛岡停車場線開運橋橋梁耐震補強予備設計ほか業務委託	盛岡広域振興局土木部			
14	サンエスコンサルタント(株) 〔盛岡市〕	菅野 一光	一般国道342号永井地区橋梁詳細設計業務委託	一関土木センター			
15	(株)東開技術 〔奥州市〕	小川 淳	一般国道343号ほか県南広域振興局土木部管内発注者支援業務委託	県南広域振興局土木部			
16	(株)岩手土木コンサルタント 〔盛岡市〕	藤原 敏明	主要地方道盛岡和賀線鍋倉地区ほか防雪柵更新設計業務委託	花巻土木センター			
【 地質調査 】 (2件)							
1	日本工営(株) 〔東京都〕	早乙女 勉	一般国道107号細內地区盛土变状対策測量調査解析業務委託	北上土木センター			
2	(株)総合土木コンサルタンツ 〔一関市〕	黒墨 秀行	一般県道吉里吉里釜石線室浜地区地質調査解析業務委託	沿岸広域振興局土木部			
【 補償関係コンサルタント 】 (7件)							
1	(株)岩手開発測量設計 〔盛岡市〕	山本 浩司	一般県道吉里吉里釜石線室浜地区保安林解除申請書類作成業務委託	沿岸広域振興局土木部			
2	北光コンサル(株) 〔盛岡市〕	菱田 廣士	花卷空港周辺(支障木)調査業務委託	花巻空港事務所			
3	サンエスコンサルタント(株) 〔盛岡市〕	山崎 亨	一般国道397号高屋敷地区事業認定申請図書作成の2業務委託	大船渡土木センター			
4	(有)スカイ測量設計 〔大槌町〕	齊藤 幸夫	二級河川大槌川河川等災害復旧事業用地測量業務委託	沿岸広域振興局土木部			
5	(株)鈴木測量設計 [宮古市]	芳賀 重行	一般県道吉里吉里釜石線室浜B工区道路災害防除事業用地測量業務委託	沿岸広域振興局土木部			
6	(株)総合土木コンサルタンツ [一関市]	原田 真吾	主要地方道江刺東和線太田地区地域づくり緊急改善用地測量業務委託	県南広域振興局土木部			
7	(株)一測設計 [一関市]	大森 進	一級河川矢櫃川平成25年災河川災害復旧用地測量及び用地調査業務委託	盛岡広域振興局土木部			



元旦ビューティー工業株式会社様からの寄附金の贈呈式を行いました

県土整備企画室

平成28年2月17日(水)に、元旦ビューティー工業株式会社様(本社・神奈川県)からの寄附金の贈呈式を行いました。

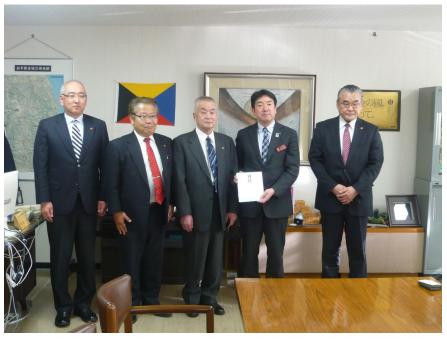
これは、同社の創業 50 周年を記念して、東日本大震災津波に伴う災害復旧を目的に 100 万円が寄附されたものです。

同社の坂本取締役営業本部長から目録を受領した蓮見県土整備部長から、「平成 28 年3月で発災から5年目となるが、今まで様々な復旧・復興事業を進めてきました。頂戴した寄附金は、有効に、大切に使わせていただきたい」と謝辞がありました。

贈呈式の様子









いわて花巻空港 3月27日 ダイヤ改正 I I

~ 名古屋線が増便、札幌線の機材が大型化 ~

空港課

いわて花巻空港の定期便のダイヤが平成28年3月27日(日)から改正となり、名古屋線が1日3往復から4往復と増便され、札幌線が現行ダイヤと同じく1日3往復ながら機材が大型化*1するほか、大阪線が1日4往復、福岡線が1日1往復運航されます。

このダイヤ改正により、いわて花巻空港の1日当たりの運航便数は 12 便と、平成 26 年度上期及び平成 27 年度上期と並んで過去最多となり、また、1日当たりの提供座席数は、震災以降で最多*2となります。

旅行にビジネスに、ますます便利になったいわて花巻空港をぜひご利用ください!

※1 CRJ200:50 席 ⇒ ERJ170:76 席(平成28年5月からの予定)

%2

時 期	平成 27 年度上期	平成 27 年度下期	平成 28 年度上期
便 数	12	11	12
座席数	1,564~1,612	1,464~1,512	1,772~1,836

※H22 下期は、1日当たりの提供座席数は708 席。(伊丹:3往復、456 席 札幌:2往復、252 席)

